

# 歴史書

9

2015  
No. 221



# 通信

喪装の白と黒を巡る比較文化の旅／増田 美子

歴史書新刊ニュース〈7・8月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉

歴史書懇話会

# 喪装の白と黒を巡る比較文化の旅

増田 美子

(学習院女子大学名誉教授)

数年前、ペルーのクスコで民家を訪れた際に、住居内の祭壇に頭蓋骨が祀られているのを見た。黒ずんだ3体の頭骨であったが、居住者の話では、祖父母と曾祖父のものとのことであった。このような風習は、かつて世界各地で集落の真ん中に墓を作っていた風習と同根のものであり、生者は死者（先祖）の霊に守られて平穏無事に暮らすことが出来ると信じていた証である。即ち、人間は本能としては死を怖れるが、死を受け入れ死そのものを祖霊の誕生と受け止め、死霊には十二分に満足してもらって自分たちの守護霊となって欲しいとの願いから、霊の慰めの儀礼が行われるようになったと考えられる。

この死霊への慰めの思いを視覚的に表現したのが、葬礼の飾りつけであり、死装束であり、喪服である。喪服には更に、悲しみの気持ちを形であらわすという社会環境の中での人間の姿も見え隠れする。

日本の葬礼の装いを注視してみると、種々の興味深いものがみえてくる。伝統的な葬式の際の棺飾りには、神祭りの御神輿と共通のものが多々あり、鳥や鳥居が飾られていたりもする。古代においては、人は死後神

になると考えられており、葬事に関わる装いの色は、神事と同様に白であった。即ち古代においては、葬事と神事は同種のものだった可能性が大なのである。歴史の流れの中で変容し続けていった日本人の意識ではあるが、その本源的なものは、このプリミティブな古代日本人の意識の中にこそ見出すことが出来るのではなかろうか。

葬送の儀式が最も保守的な儀礼の一つであることは、世界的にも共通のことである。これら諸外国の葬送儀礼の装いの中に、各々の国の人々の原初的な心を見出し、これらを相互に比較検討することで、人類共通の本源的な心を見出すことが出来るのではないかと考えて、日本・中国・インド・トルコ・フランスの文化史・服飾史の研究者が集い、共同研究を行った。その成果を纏めたのが本年5月刊行の『葬送儀礼と装いの比較文化史』（東京堂出版）である。

## 1. 死者の装いからみる文化比較

中国では、遺体に白衣や白布を装わせ、その上に多数の衣服を重ねる風習がみられる。古代では、白衣裳の上に大量の衣服を着せて結束し、納棺した。現代も伝統的な葬礼では

「寿衣」と称して、5枚7枚といった奇数の衣を装わせて埋葬している。

日本の場合、日常の晴れ着的な衣服が古代からの死装束であった。これは支配者層では一般的なものであり、宮中以下上流武士の間では近世まで継承されてきている。江戸時代の将軍たちは東帯姿で、大名クラスは直垂姿で埋葬されるのが一般的であった。一方庶民の死装束は、江戸後期になると白衣裳に脚絆、草鞋に笠と杖という行者装束が基本となり、今日に及んでいる。

インド・ヒンドゥーの死装束は、男性は白ドーティ（腰布）、女性は白サリーであり、その上を白い布で覆うという姿が多い。筆者が瞥見したネパール・ヒンドゥーの死装束も白装束を装い、マリーゴールドの花で埋められていた。恐らく白い死装束はヒンドゥー世界での共通のものであろう。

トルコ・イスラームの死装束は、カファンと称する白い布である。カファンは、男性は3枚、女性は5枚用いられることが望ましいとされている。男性のカファンは、巡礼の際に着たイフラム（白い布）を大切に保管しておき、これを用いることが多いそうである。

フランス・カトリックでも死装束は白が相応しい色とされた。古代から中世にかけて、死は神のもとへの凱旋であるとする意識と、キリストの復活信仰とが強く結びつけられ、白い死装束が装われるようになったと考えられる。

## 2. 喪服からみる文化比較

中国の伝統的葬礼では、古代に成立した斬衰・齊衰・大功・小功・總麻の「五服の制」が今日まで生き続けている。重い喪が斬衰で、順に軽くなっていく。親の喪の場合には、孝服（斬衰の服）を装って男性は孝巾（半幅の白布）で頭を覆う。女性は一幅の白布を三角に折りたたみ、頭に被る。男女とも「孝縵（麻紐）」を腰に巻き、杖をつく。孝服の多くは生成りか白の麻布製で、衿元や袖口・裾の縁は縫わない。履は白布で覆う。しかし、このような伝統的な葬礼も都市部では少なくなった。都市部では、殯儀館などの葬儀施設で行われることが多くなり、その際の喪服の大半は黒の洋服である。

日本の古代における喪服は素服（白麻布製）が一般的であったが、奈良朝の天皇の錫紵に始まった鈍色（鼠色）の喪服が平安には貴族層に広まり、平安後期には黒色が喪服の基調色となる。以降近世まで、宮中ではこの平安後期の制が継承されていくが、中世以降の武家社会では白喪服が主流となった。これは禅宗が中国の喪の色（白）の意識をもたらししたことによると思われるが、江戸の朱子学の隆盛もこれを助長した。明治以降西洋文化の流入により、洋装の喪服は黒が主流となるが、和装の場合は白が着用され続けた。大正に入り、大葬の際に黒喪章の着装通達が出されたことなどにより、正式な場合の喪の色は黒との意識が次第に浸透し、黒喪服が増加していく。しかし昭和になっても、正式な喪服は

白と言う意識は残り続けた。黒喪服がごく当たり前となるのは、終戦後のことである。

インド・ヒンドゥーでは喪主と親族は剃髪し、喪主は基本的に白ドレーティカクルタ（民族衣装）を儀礼中装う。一般参列者には特別の喪服は無い。バリ・ヒンドゥーでは葬礼には正装を装うが、色や柄に決まりは無い。しかし近年は黒っぽい色が相応しいとされるようになった。

トルコ・イスラームでも特に決まった喪服は無く、暗い色の衣服を着ることが多い。

フランス・カトリックでは、18世紀に喪服規定が成立した。最も重い喪（夫の喪）の服喪期間は1年6週であり、最初の6ヶ月間は黒っぽい毛織物の喪服で、続く6ヶ月間は黒絹製の服となり、最後の6週間は黒と白の絹製衣服であった。このように18世紀には喪の基調色は黒となっているが、中世にあつては黒の他に黄色・茶色・堇色等の喪服もみられた。黒に集約されていくのは中世後期で、「煉獄思想」の影響から嘆きや悲しみが強調され、人々の憂愁感を表現するのに相応しい色として黒が用いられた。宗教改革以降、煉獄思想は過ちであったと修正されたが、喪服の黒はそのまま継承されてきた。

### 3. 喪の装いの白と黒

以上みてきたように、歴史も風土も宗教も異なる国々であるにも拘らず、その葬礼の装いは基本的に白の

世界である。この人々の底にある意識は一体何なのであろうか。

中国では、白は全ての色（物）の根本であるとともに、明るい光の象徴色であり、それは天を象徴する色でもあった。敗者の掲げる白旗も天命に服すと言う意味でのものである。日本でも喪服は基本的に白であり、その色は天から射す明るい光の象徴色とされ、神聖な色とされた。インド・ヒンドゥーでも葬礼の基調色は白であり、白は浄性の色で、死の穢れから守る喪の色として相応しいとされた。イスラームの死装束も白布であるが、彼らの天国はキラキラ光る光の世界であり、アッラーは天国を白色に創ったとし、白はアッラーの最も好む色とされた。カトリックでも死装束や棺を覆う布は白色である。白はキリストの装っていた色、復活の色であり、当然神聖な色である。

このように白を神聖な色とする意識は広く分布しているが、その背景には、白は明（光）の色という共通の意識があるからではなかろうか。中国・日本・台湾・イスラーム世界は、いずれも白は天界（天国）の色であり光の色であるとし、他の国々も神聖な・清浄な色としている。

誰もが何時かは訪れるであろう場所が「死後の世界」である。そこは光に満ちた明るい清潔な白色の世界であり、人々はその世界に相応しい色として白色を喪の装いに用いたのではなかろうか。

しかし今日では、いずれの国も近

代化の波の中で、欧米文化の影響を濃厚に受け、喪装は黒の世界に変容しつつある。 (ますだ よしこ)

(表紙写真) 英照皇太后大葬参列者の喪服 (『風俗画報』明治30年2月号) 国立国会図書館蔵

# 新刊ニュース

7・8月発行図書 \*発売は予定のものもあります

## 歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

### 歴史の余燼

瀬野精一郎著

四六判 480頁 3,000円

吉川弘文館〔7月刊〕

専門の中世史にとどまらず、郷里長崎の回想、反戦の立場から最近の動向への警鐘など、厳しくかつユーモラスな筆致のエッセー集。

978-4-642-08279-2

## 考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

### 長登銅山跡—長門に眠る日本最古の古代銅山—

日本の遺跡49

池田善文著

四六判 192頁 1,800円

同成社〔7月刊〕

出土木簡や最新の科学分析から奈良の大仏に使われた銅の原産地であることが判明した本遺跡について、その調査成果を平易に解説する。

978-4-88621-701-1

### 富沢遺跡—甕る東北の旧石器埋没林と野営跡—

日本の遺跡50

斎野裕彦著

四六判 190頁 1,800円

同成社〔8月刊〕

世界でも希有な事例である二万年前の野営跡や、氷河期の自然環境を考古資料から復元し、富沢遺跡にいた旧石器人たちの行動を解明する。

978-4-88621-710-3

### 地域を活かす遺跡と博物館—遺跡博物館のいま—

青木 豊・鷹野光行編

A5判 304頁 3,600円

同成社〔8月刊〕

高度経済成長以降、各地で急増した遺跡博物館。その現状と課題を整理し、遺跡保存や活用の在り方・教育効果について丹念に考察する。

978-4-88621-702-8

### 中国考古学のとびき

飯島武次著

四六判 192頁 1,900円

同成社〔7月刊〕

旧石器時代から唐代までの中国の歴史を追いながら、それぞれの時代の考古学的意義を簡潔に語り主要な遺跡や代表的遺物について概説。

978-4-88621-706-6

## 日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

### 北の原始時代

東北の古代史1

阿子島 香編

四六判 270頁 2,400円

吉川弘文館〔7月刊〕

多くの出土品から、細石刃文化、縄文の土器と集落、亀ヶ岡文化などに迫る。東アジアで独自の発展を遂げた、東北文化の夜明けを描く。

978-4-642-06487-3

### 軍隊と地域社会を問う

地域社会編 地域のなかの軍隊9

林 博史・原田敬一・山本和重編

四六判 250頁 2,800円

吉川弘文館〔8月刊〕

鉄道、国防婦人会、慰霊・追悼、遊廓・慰安所、戦争遺跡…。戦前、人びとの暮らしにとけ込んでいた軍隊の風景とは？

978-4-642-06481-1

## 鎌倉幕府と東北

東北の中世史 2  
七海雅人編  
四六判 244頁 2,400円 吉川弘文館〔8月刊〕

東北が支えた御家人社会。交通や人々の生活の様相など、「幕府の植民地」論には収まらない「東北の鎌倉時代」を日本史に位置づける。  
978-4-642-06493-4

## 歴史のなかの石造物

人間・死者・神仏をつなぐ  
山川均著  
A 5判 212頁 2,500円 吉川弘文館〔7月刊〕

中世に造られ各地に残る、層塔・石仏・五輪塔…。その造立の背景にあった人間と異界・死者・神仏が複雑に織り成すストーリーを描く。  
978-4-642-08281-5

## 正倉院文書と下級官人の実像

古代史選書15  
市川理恵著  
A 5判 272頁 6,000円 同成社〔7月刊〕

正倉院文書を解説し「貴族に虐げられた下級官人」という従来像を覆し、古代国家の運営を支え富を築いた実力者達の実像を描き出す。  
978-4-88621-703-5

## 古代官僚制と遣唐使の時代(仮)

古代史選書16  
井上巨著  
A 5判 352頁 予価7,800円 同成社〔8月刊〕

律令制成立を独自の観点から再検討し、東アジア世界に日本を位置づけ、政治から学問・文化までを論じる鋭い問題提起の書。  
978-4-88621-707-3

## 仁徳天皇

煙立つ民のかまどは賑ひにけり  
若井敏明著  
四六判 200頁 2,800円 ミネルヴァ書房〔7月刊〕

日本最大の前方後円墳・大仙古墳の被葬者として知られ、「甕の煙」の伝承から聖帝ともされる仁徳天皇。本書では、『古事記』『日本書紀』を徹底的に読み解き、ヤマト政権確立期に活躍した人物像を明らかにする。  
978-4-623-07419-8

## 日本の古代宮都と文物

小笠原好彦著  
A 5判 400頁 11,000円 吉川弘文館〔8月刊〕

飛鳥の宮都から藤原京、平城京へ遷都した宮都の特質とは。造営の歴史的背景と要因を解明。古代人の墓誌や祭祀用の土馬にも言及。  
978-4-642-04624-4

## 古代国家の東北辺境支配

日本史学研究叢書  
今泉隆雄著  
A 5判 592頁 14,000円 吉川弘文館〔8月刊〕

考古・文献双方への深い理解をもとに東北の城柵に視座を据え古代国家の東北辺境支配の構造と展開を解明。蝦夷社会の実像にも迫る。  
978-4-642-04622-0

## 中世の国土高権と天皇・武家

歴史科学叢書  
保立道久著  
A 5判 538頁 12,000円 校倉書房〔7月刊〕

平安時代と鎌倉時代最初期の天皇・院と武家が、この列島の支配の根源においていた国家的権能、国土高権が、どのようなものであったかを論じた。  
978-4-7517-4640-0

## 出雲尼子一族

読みなおす日本史  
米原正義著  
四六判 286頁 2,200円 吉川弘文館〔7月刊〕

発展の過程と、大内・毛利氏との全面戦争、山中鹿介らの奮戦をなしく滅亡するまでの歴史を、軍記物の虚像を排して描いた名著。  
978-4-642-06591-7

## 高師直

室町新秩序の創造者 歴史文化ライブラリー406  
亀田俊和著  
四六判 240頁 1,700円 吉川弘文館〔7月刊〕

南朝忠臣の好敵手、足利直義の政敵として悪人イメージが根強いが本当なのか。改革派政治家として再評価し、栄光と没落の生涯を描く。  
978-4-642-05806-3

## アジアのなかの戦国大名

西国の群雄と経営戦略 歴史文化ライブラリー409  
鹿毛敏夫著  
四六判 208頁 1,700円 吉川弘文館〔8月刊〕

彼らすべてが「天下統一」をめざした訳ではない！ アジアに目を向けた戦国大名たちの領国経営から、戦国時代を国際的に再評価する。  
978-4-642-05809-4

## 新田一族の中世

「武家の棟梁」への道 歴史文化ライブラリー408

田中大喜著

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館〔8月刊〕

『太平記』に刻まれた「武家の棟梁」の姿。ライバル足利氏の秘められた思惑を描き出し、新田氏の足跡から実像を浮き彫りにする！  
978-4-642-05808-7

## 広島藩

日本歴史叢書71

土井作治著

四六判 362頁 3,200円

吉川弘文館〔7月刊〕

福島氏と浅野氏が安芸・備後両国を領域とした外様の大藩。独自の経済構造、歴史認識の昂揚など、藩社会の特徴や自立性を解明する。  
978-4-642-06670-9

## 近世海難史の研究

段木一行著

A 5判 344頁 11,000円

吉川弘文館〔8月刊〕

江戸と上方を結ぶ大動脈だった海運だが、海難事故が多発し漂流船は伊豆諸島に流れ着くことが多かった。物流の実態と人々の姿を描く。  
978-4-642-03471-5

## 京都 近代の記憶

場所・人・建築

中川 理著

A 5判 172頁 2,200円

思文閣出版〔8月刊〕

都市改造や近代主義建築の導入に取り組み一方で、「千年のみやこ」を演じてきた京都。近代化の過程で生まれたエピソード62話を場所・人・建築をキーワードに綴る。  
978-4-47842-1812-7

## 水系都市京都

水インフラと都市拡張

小野芳朗編著

A 5判 320頁 5,400円

思文閣出版〔8月刊〕

近代京都の都市史を水インフラという視点から論じる一方で、同一水系に属する伏見が一度は独立市制を志しながら京都市へ合併される顛末を明らかにする。  
978-4-47842-1815-8

## 大川周明と狂気の残影

アメリカ人従軍精神科医とアジア主義者の軌跡と邂逅

エリック・ヤッフェ著 樋口武志訳

四六判 350頁 2,600円

明石書店〔7月刊〕

東京裁判にて執行を免れた大川周明の精神障害は本物だったのか？ その真偽を究む証が存在することから、著者は連合国軍の精神科医として大川の鑑定にあたった強気の鑑定結果の傍証に乗り出す。アジア主義を主導し国家を戦争へ導いたとされる大川と従軍精神科医として戦地に同行した狂気の足跡をたどることで、戦争へ向かう国家の狂気、そして戦後で失士たちが問われゆく戦争の現実が浮かび上がる。戦後70年を経て、あの戦争にまつる国家の狂気と人間の精神に新たに迫る傑作ノンフィクション！ 978-4-47503-4219-1

## マルクスと日本人

社会運動からみた戦後日本論

佐藤 優・山崎耕一郎著

四六判 256頁 1,400円

明石書店〔7月刊〕

佐藤優による戦後日本の思想・社会運動論。対話する相手は、彼が十歳代に加盟した日本社会主義青年同盟の指導者・山崎耕一郎。向坂逸郎ら日本の理論・実践家への思い、ビケティへの評価なども交え、資本主義の問題点と、そこからの脱却の可能性について語る。 978-4-47503-4218-4

## 戦没者合祀と靖国神社

赤澤史朗著

四六判 232頁 2,500円

吉川弘文館〔7月刊〕

近代日本における対外戦争の戦没者を主な祭神とする靖国神社。誰が祀られ、誰が祀られなかったか。揺れ動く合祀基準のゆくえを追う。  
978-4-642-08282-2

## 世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

## 溥儀

日本史リブレット人99

塚瀬 進著

A 5 変型判 96頁 800円

山川出版社〔7月刊〕

三度にわたり皇帝に即位した溥儀。その生涯を20世紀という彼の生きた時代、そして当時の政治状況のなかに位置づける。  
978-4-634-54899-2

## 雨森芳洲

朝鮮学への展開と禅思想

信原 修著

四六判 206頁 3,200円

明石書店〔7月刊〕

18世紀日朝の国際社会の舞台で「実意」を貫き、「誠信」を生きた「実践」の人・雨森芳洲。江戸期を代表する開明的な文化人であり真の国際人である雨森芳洲の全体像を、史（資）料に基づきながら経験的・体感的に描き出す。今日なお生き続け、現代のわれわれに問い掛けてくるメッセージを聴きとる。 978-4-47503-4214-6



## ムスリマを育てる

イスラームを知る20

服部美奈著

A 5判 112頁 1,200円

山川出版社〔7月刊〕

イスラームが世界に広がるなか、活躍を始める女性教徒（ムスリマ）たち。ムスリマの教育の実態や問題についてインドネシアの事例から考察する。 978—4—634—47480—2

## バイユーの綴織を読む

鶴島博和著

A 5判 336頁 4,600円

山川出版社〔8月刊〕

イングランド人の王とノルマン人の公の戦いを描いた長大な絵巻から、史料を駆使して11世紀、北西ヨーロッパの海峡世界を読み解く。 978—4—634—64072—6

## アステカ王国の生贄の祭祀

血・花・笑・戦

岩崎賢著

四六判 200頁 2,200円

刀水書房〔8月刊〕

アステカ人の宗教的伝統の中心的要素であった生贄の儀礼に、古代語文獻・考古学史料・民族学史料・図像史料を駆使して肉迫した意欲的試み。 978—4—88708—423—0

## 文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教

教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

## イスラーム基礎講座

渥美堅持著

四六判 400頁 2,200円

東京堂出版〔7月刊〕

イスラームを歴史、宗教、生活等多彩な視点から詳説。わかりやすい解説で幅広いニーズに応えた、国際情勢・歴史を理解するための必読書。 978—4—490—20912—9

## 朱子学入門

垣内景子著

四六判 232頁 2,700円 ミネルヴァ書房〔8月刊〕

東アジアの歴史・文化・思想を考えるうえで避けて通ることができない朱子学の基本的な世界観や考え方を概説し、朱子学への入門の手助けをすることを旨とする。基本知識の解説に加え、思想構造をより原理的に読み解く。 978—4—623—07391—7

## 竹越与三郎

世界的見地より経綸を案出す

西田毅著

四六判 400頁 3,500円 ミネルヴァ書房〔8月刊〕

民友社同人として『国民新聞』に協力するも、徳富蘇峰と訣別して『世界之日本』を創刊し、西園寺公望秘書を経て政界に進出した竹越与三郎。『新日本史』等の著作を著す一方、リベラリストとして軍部に抗した生涯を描く。 978—4—623—07424—2

## 佐渡の五重塔

日蓮宗妙宣寺五重塔の歴史

児玉信雄著

四六判 250頁 2,200円

刀水書房〔7月刊〕

現存する佐渡唯一の五重塔は92年かけて文政10年に再建。造塔に関わった多くの人々に丁寧な光を当てる。日蓮の佐渡配流については新知見を紹介。 978—4—88708—414—8

## 説話と仏教

今成元昭仏教文学論纂 第三巻

今成元昭著 小峯和明解説

A 5判 400頁 12,960円

法蔵館〔7月刊〕

『日本靈異記』『今昔物語集』などの「説話」を「説示の文学」と規定し、古代から中世への往生伝文学の過程を追う論考など。仏教思想に立脚し、従来の説話観を覆した衝撃的論考集。 978—4—8318—3317—4

## 出雲鰐淵寺文書

鰐淵寺文書研究会編

A 5判 400頁 14,040円

法蔵館〔8月刊〕

中世屈指の有力地方寺院・出雲国鰐淵寺所蔵の、鎌倉初期から戦国末期に至る古文書約400点を、新たな校訂により翻刻、巻末には花押一覧を付す。中世史研究者必備の史料集。 978—4—8318—5041—6

## 總持寺の歴史〈増補新版〉

竹内道雄著・尾崎正善編

四六判 196頁 2,000円

吉川弘文館〔7月刊〕

總持寺は永平寺とともに曹洞宗の大本山である。新たに口絵、本文図版、用語解説、振り仮名、近年までの記述などを加えた増補新版。 978—4—642—08280—8

## 日本古代の典籍と宗教文化

増尾伸一郎著

A 5判 336頁 9,500円 吉川弘文館〔7月刊〕

日本古代社会でいかに醸成されたのか。東アジア世界のなかで、古代日本の〈知の営み〉を探究した論考を集成する。

978-4-642-04623-7

## 人物で見る日本の教育[第2版]

沖田行司編著

A 5判 330頁 2,800円 ミネルヴァ書房〔8月刊〕

人物を通じて日本の教育史を読み解く入門書の改訂版である。近世の教育思想から文明開化、戦後までを視野に入れつつ、日本の教育がいかに形成されてきたか学ぶことができる。教育関係者必読の一冊である。 978-4-623-07402-0

## 中谷宇吉郎

人の役に立つ研究をせよ

杉山滋郎著

四六判 380頁 3,200円 ミネルヴァ書房〔7月刊〕

雪の研究で著名な物理学者の評伝である。寺田寅彦のもとで実験物理学を専攻し、雪の研究などを行い、啓蒙書の執筆や科学映画の制作などで科学を世に広め続けた泰斗の生涯に迫る。 978-4-623-07413-6

## 日本庭園の歴史と文化

小野健吉著

A 5判 220頁 3,500円 吉川弘文館〔8月刊〕

古代の庭園遺構から寺院・将軍・大名らの庭園、計画的に造営された近代庭園まで、日本庭園の魅力に迫り、その歴史と文化を解明する。 978-4-642-01651-3

## 本のことわかる本①調べよう！ 文字のはじまりと本の歴史

能勢 仁監修・稲葉茂勝 文

A B判 32頁 2,500円 ミネルヴァ書房〔7月刊〕

本にまつわる話題を、これまでにない切り口で紹介するシリーズ。1巻目では文字のはじまりと本の歴史についてたくさんの写真でわかりやすくまとめている。 978-4-623-07426-6

## 本のことわかる本②見てみよう！ 知っているようで知らない「本」

能勢 仁監修・稲葉茂勝 文

A B判 32頁 2,500円 ミネルヴァ書房〔8月刊〕

本にまつわる話題を、これまでにない切り口で紹介するシリーズ。2巻目は本のつくりやブックデザインと本に関する興味深い情報を紹介します。 978-4-623-07427-3

## 盲人福祉の歴史

近代日本の先覚者たちの思想と源流

森田昭二著

A 5判 316頁 5,500円 明石書店〔6月刊〕

好本督・中村京太郎・熊谷鉄太郎という「盲人福祉」の3人の先覚者の系譜をたどり、近代日本における盲人福祉史の源流をたどっていく。3人は我が国の盲人社会に、盲人による人権の獲得や盲人の生活の近代化という基礎づくりを基盤としてなされた新しい盲人福祉史の源流をつくった。彼らの個々の生涯のみならず、その連続性・注目し、歴史的な背景とともに、その位置や意義を考察する。 978-4-4-7503-4210-8

## 富士山宝永大爆発

読みなおす日本史

永原慶二著

四六判 246頁 2,200円 吉川弘文館〔8月刊〕

宝永4年(1707)、富士山は620年ぶりに大噴火した。生産・住居など生きる手段を失った住民たちの生活復興への戦いを描く。 978-4-642-06592-4

## 将門伝説の歴史

歴史文化ライブラリー407

樋口州男著

四六判 240頁 1,700円 吉川弘文館〔7月刊〕

平安中期、坂東に王城建設を試みた平将門。敗死後の評価は叛逆者と英雄との狭間で揺れた。時空を超え語られてきた伝説の世界へ誘う。 978-4-642-05807-0

※表示価格は、すべて本体価格です。

雑誌

日本歴史 8月号（第807）＝7月刊  
9月号（第808）＝8月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い23,500円〔税・送料込〕

A5判 130頁 各741円 吉川弘文館〔7・8月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔税・送料込〕

※表示価格は、すべて本体価格です。

歴史書以外の――

# 人文社会図書新刊案内

2015. 7・8

## ――明石書店――

障害者権利擁護運動事典 フレッド・ベルカ著 .....	A 5判	9,200円	6月
教皇フランシスコ 喜びと感謝のことば 山田經三著 .....	四六判	1,500円	6月
サイコパシー・ハンドブック クリストファー・J・パトリック著 .....	A 5判	20,000円	6月
同性愛と同性婚の政治学 ノーマルの虚像 アンドリュウ・サリヴァン著 .....	四六判	3,000円	6月

## ――思文閣出版――

響きあう東西文化 マラルメの光芒、フェノロサの反影 宗像衣子著 .....	A 5判	5,400円	8月
---------------------------------------	------	--------	----

## ――法蔵館――

新装版 空海入門 高木紳元著 .....	四六判	1,944円	8月
新・梵字大鑑 全2巻 種智院大学密教学会編 .....	B 5判	43,200円	8月

## ――ミネルヴァ書房――

「無極化」時代の日米同盟 川上高司著 .....	A 5判	3,500円	7月
住民主権型減災のまちづくり 中山久憲著 .....	A 5判	6,000円	7月
農業再生に挑むコミュニティビジネス 曾根原久司・西辻一真・平野俊己・佐藤幸次・南部町商工観光交流課著 .....	四六判	3,000円	7月
野党とは何か 吉田 徹著 .....	A 5判	6,000円	8月
ケインズ対フランク・ナイト 酒井泰弘著 .....	四六判	3,800円	8月
ミュルダール 福祉・発展・制度 グンナー・ミュルダール著 藤田菜々子訳 .....	四六判	4,000円	8月
変革の鍵としてのジェンダー 落合恵美子・橋木俊詔編著 .....	A 5判	5,000円	8月
インテリジェンス・ジャーナリズム			
ビル・コヴァッチ／トム・ローゼンステール著 奥村信幸訳 .....	A 5判	5,500円	8月
おもしろい！日本の畜産はいま 広岡博之・片岡文洋・松永和平・佐藤正寛・大竹 聡・後藤達彦著 .....	四六判	3,000円	8月
日本人の贈答(ミネルヴァ・アーカイブズ) 伊藤幹治・栗田靖之編著 .....	A 5判	8,000円	8月
租税回避の研究(ミネルヴァ・アーカイブズ) 清永敬次著 .....	A 5判	10,000円	8月
変動の社会学(ミネルヴァ・アーカイブズ) N・J・スメルサー著 橋本 真訳 .....	A 5判	8,500円	8月

※表示価格は、すべて本体価格です。

## 歴史ニュース

毎年8月には、忘れられない日が廻って来ます。70年前、広島に原爆が落とされた6日と、長崎に原爆が落とされた9日です。今年はずっと70年の節目の年、被爆者健康手帳を持つ被爆者の方々は昨年末18万3519人、平均年齢が80歳を超えたそうです。NHKの世論調査で原爆投下の日付を正しく答えられなかった人が全国で7割に達したとも報じられました。「記憶」の意味を考えさせられます。折しもBSの「キャノン・ハーシー“ヒロシマへの旅”」を観る機会がありました。キャノンは1946年5月広島を訪ねアメリカで初めて原爆被害の惨状を伝えた *Hiroshima* (邦訳『ヒロシマ』は法政大学出版局)の著者ジョン・ハーシーの孫です。*Hiroshima* は当時アメリカで大反響となり原爆投下を正当化するアメリカ政府の圧力もあり、ジョンはその後沈黙。語らなくなったジョンの思いを知るために広島を訪ねた孫キャノンは、40年後に広島を再訪したジョンが友人に語った言葉「〈記憶〉を通して過去から学び続けることで、人類は生き続ける事が出来る」を友人から聞かされます。アーティストのキャノンは、祖父のこの言葉の意味を彼の活動を通して若い人々に伝え始めました。この番組は、世代を超えて戦争の記憶を伝えていくための新しい可能性を伝えてくれました。私たちはこれからも歴史書の形で戦争の記憶を残してゆきたいと思います。(FN)

### 歴史フェアのお知らせ

- 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の10書店で開催中です(かっこの数字はフェア開始の日付)。◇天童市 TENDO 八文字屋 (2006年7月～) / ◇新潟紀伊國屋書店新潟店 (2007年8月～) ◇松江市今井書店グループセンター店 (2008年6月～) / ◇新宿区芳林堂書店高田馬場店 (2010年4月～) ◇大阪市喜久屋書店阿倍野店 (2013年11月～) / ◇紀伊國屋書店グランフロント大阪店 (2013年11月～) / ◇大阪市ジュンク堂書店上本町店 (2013年11月～) / ◇神戸市ジュンク堂書店三宮駅前店 (2014年6月～) / ◇出雲市今井書店出雲店 (2014年7月～) / ◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店 (2015年6月～)。お近くにお越しの折には、是非お訪ねください。6月からジュンク堂書店名古屋ロフト店さんも参加されました。
- 東大生協駒場書籍部で6月15日から9月30日まで長期歴史フェア「戦争を読む・平和を読む／戦後70年」開催中。

## 歴史書懇話会

### 役員幹事改選

### のお知らせ

当会は6月6日に平成26年度総会を開き、役員幹事を右記の通り選任いたしました。

代表幹事	(法蔵館)	西村 明高
書記幹事	(吉川弘文館)	春山 晃宏
会計幹事	(塙書房)	関口 守俊
特設店・企画委員会幹事	(刀水書房)	中村 文江
販売委員会幹事	(ミネルヴァ書房)	杉田 信啓
弘報委員会幹事	(法蔵館)	西村 明高 (兼任)

# 歴史書懇話会特設店

- |           |        |  |
|-----------|--------|--|
| 岩瀬書店      | 富久山店   | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田<br>字大森新田36-1<br>☎024-936-2220                 |
| 煥乎堂       | 本店     | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13<br>☎027-235-8111                             |
| 須原屋       | 本店     | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20<br>☎048-822-5321                        |
| 岩波ブックセンター | 信山社    | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3<br>☎03-3263-6601                         |
| 東京堂書店     | 神田神保町店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17<br>☎03-3291-5181                           |
| 芳林堂書店     | 高田馬場店  | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場<br>1-26-5 F Iビル<br>☎03-3208-0241              |
| ジュンク堂書店   | 池袋本店   | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5<br>☎03-5956-6111                         |
| 有隣堂       | 本店     | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1<br>☎045-261-1231                         |
| Booksなかだ  | 本店     | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1<br>☎076-492-1192                             |
| うつのみや     | 柿木島本店  | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30<br>☎076-234-8111                             |
| 平安堂       | 長野店    | 〒380-0825 長野市末広町1355-5<br>☎026-224-4550                            |
| 精文館書店     | 本店     | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6<br>☎0532-54-2345                               |
| ちくさ正文館    | 本店     | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1<br>☎052-741-1137                         |
| ジュンク堂書店   | 京都店    | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角<br>☎075-252-0101                            |
| ジュンク堂書店   | 大阪本店   | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20<br>堂島アバンザ1～3 F<br>☎06-4799-1090            |
| ジュンク堂書店   | 千日前店   | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7<br>Y. E. S. N A M B Aビル<br>☎06-6635-5330 |
| ジュンク堂書店   | 三宮店    | 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18<br>☎078-392-1001                         |

フタバ図書	T E R A 広島府中店	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ ☎082-561-0770
りーぶる	天 神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-18 サンビル 1 F ☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福 岡 店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2015年8月現在

歴史書懇話会ホームページ <a href="http://www.hozokan.co.jp/rekikon/">http://www.hozokan.co.jp/rekikon/</a>	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
明石書店	<a href="http://www.akashi.co.jp/">http://www.akashi.co.jp/</a>
校倉書房	<a href="http://www.azekurashobo.com/">http://www.azekurashobo.com/</a>
思文閣出版	<a href="http://www.shibunkaku.co.jp/">http://www.shibunkaku.co.jp/</a>
東京堂出版	<a href="http://www.tokyodoshuppan.com/">http://www.tokyodoshuppan.com/</a>
刀水書房	<a href="http://www.tousuishobou.com/">http://www.tousuishobou.com/</a>
同成社	<a href="http://homepage3.nifty.com/douseisha/">http://homepage3.nifty.com/douseisha/</a>
塙書房	<a href="http://www.hanawashobo.co.jp/">http://www.hanawashobo.co.jp/</a>
法藏館	<a href="http://www.hozokan.co.jp/">http://www.hozokan.co.jp/</a>
ミネルヴァ書房	<a href="http://www.minervashobo.co.jp/">http://www.minervashobo.co.jp/</a>
山川出版社	<a href="http://www.yamakawa.co.jp/">http://www.yamakawa.co.jp/</a>
吉川弘文館	<a href="http://www.yoshikawa-k.co.jp/">http://www.yoshikawa-k.co.jp/</a>

# 歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在12社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

## ＜歴史書懇話会＞の主な事業

### 「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています！

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

### 「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を！

全国約100書店で会員社の歴史書40冊を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は130冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

### 「特設店」全国に20拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です！

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に20店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いします。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

### 「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

5月から9月に統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

### 「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

**会員社** 明石書店・校倉書房・思文閣出版・東京堂出版・刀水書房・同成社・塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館



二〇〇四年夏  
兵隊投稿雑誌復刻版を刊行

# 復刻『兵隊』 雑誌

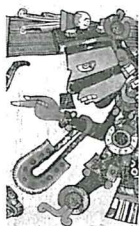


◆推薦者 木村尚三郎／小沢昭一／鶴見俊輔／石田二郎  
実物を再現した復刻版だからこそ実感できる等身大の『兵隊』の姿。  
戦後七〇年を経た今こそ、国内でなく戦地で五年間も続き  
三九巻が刊行された意味を究める事ができるのではないかと。

[正編] 36巻四合本(上製・箱入) 四六  
倍判・合計 1942頁・本体 30,000円  
／補遺] 3巻合本(並製)・194頁・  
本体 3,000円／弊社作成投稿者リス  
ト(肩書付) 2347人

日中戦争のさなか、中国の広東で南支派遣軍報道部  
が刊行し検閲もなく、自由に編集執筆されたという兵  
隊の投稿雑誌。初代編集長は火野葦平。昭和十四年五  
月から十九年五月までの五年間続いた全三九巻。国内  
には殆ど無かつた原本で、弊社創業者桑原が二〇年か  
けて集め、二〇〇四年夏、全巻の復刻を実現した  
……『兵隊』が提供する情報は、大東亜戦争下の文学のみ  
ならず、大衆娯楽をはじめ、中国社会にかかわる記録庫と  
して、多くの研究素材を用意している。それらの諸記録は、  
兵隊の目線がとらえたものだけに、民衆生活を識るフィ  
ールド・ノートたる趣がある  
(解題) (大濱徹也)より

8月新刊



岩崎賢著

## アステカ王国の 生贄の祭祀

血・花・笑・戦

(刀水歴史全書90)

生贄の祭祀のリアリティに、古代  
語文献・考古学史料・民族学史料  
・図像史料を駆使して肉迫。宗教  
的実存を共感的に描く著者の大胆  
な挑戦が光る  
四六上製 二〇〇頁 一、二〇〇

9月新刊



児玉信雄著

## 佐渡の五重塔

日蓮妙宣寺五重塔の歴史

佐渡配流の日蓮を救った妙宣寺開  
山阿仏房日得夫妻を祀る開山堂。  
重要文化財の五重塔の内、最後(22  
番目)に指定を受けた小さな塔の  
凄絶な歴史 四六上製 二五〇頁  
付カラー口絵(22頁) 一、二〇〇

好評発売中

## ある反戦

(刀水歴史全書89)

## ベトナム帰還兵の回想

W・D・エアハート著 白井洋子訳

詩人で元米国海兵隊員が、ベトナム戦争の従軍体験と、帰  
還して後に反戦平和を訴える闘士となるまでを綴った自伝  
的回想。「著者は、ベトナム戦争が生んだ傑出した詩人の  
ひとりとして、もつともよく知られている人物ではないだ  
ろうか」(H・ブルース・フランクリン)  
四六上製 四八〇頁 一、五〇〇

## 第二次大戦と西アフリカ

フランスに命を捧げた黒人部隊「セネガル歩兵」

小川了著

第一次大戦時、フランス領西アフリカから駆り出された若  
者たち「セネガル歩兵」は17万人。人類がそれまでに経験  
したことのなない近代兵器による大量殺戮の場にいきなり送  
り込まれ、4年余に及んだ戦いで命を失い、傷を負った者  
は数多い。歴史の裏に隠されていた黒人部隊の実態を、西  
アフリカ研究の泰斗が究める  
A5上製 四〇〇頁 一、五〇〇

【価格は税別】  
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1  
東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234  
http://www.tousuishobou.com

# 地球環境学と歴史学

シルクロード、カラコト遺跡共同調査プロジェクト体験記

中尾正義著

四六判 160頁 本体2000円

長い歴史の中で、人類は自然とどのように関わり、自然はどう変化したのか。理科系と人文系の枠を越えて地球環境問題に挑む共同調査プロジェクトを紹介する。

**バイユーの綴織を読む** 鶴島博和著

中世のイングランドと環海峽世界 本体4600円

イングランドとノルマンの戦いを描いた長大な絵巻から、11世紀北西ヨーロッパの海峽世界を読み解く。1066年の「ノルマン征服」の実像に迫る中世イングランド史再考。 カラー176頁

**「昭和天皇実録」と戦争**

栗原俊雄著 四六判 256頁 本体1600円

異例のベストセラー『昭和天皇実録』は、太平洋戦争をどのように描いているのか。裏づけられた史実、そして、あえて記さなかったことは。気鋭の記者がその読みどころに迫る。

阪正康 監修

各本体1600円

**写真で見る太平洋戦争 全3巻**

開戦から終戦、そして占領期まで、多数の写真と解説で振り返る。

I 真珠湾からガダルカナルへ

II 玉砕の島々と沖繩戦 終戦への道

III 占領下の日本

菊5判 平均220頁

**文学で読む日本の歴史 古典文学篇**

五味文彦著 四六判 376頁 本体1800円

新たな時代区分を試み、万葉集・古今和歌集・枕草子など、多くの古典文学を通して「思潮」を浮き彫りにし、新しい歴史像を描き出す。著者渾身の一冊。

**諸国神社 一宮・二宮・三宮**

渋谷申博著 四六判 352頁+巻頭カラー32頁

神社の成立や祭神、祭事を詳細に解説し、神道史上最大の謎「一宮制度」に迫る。各地の一宮・二宮・三宮を網羅し、地図情報等も盛り込んだ初めての書。 本体1800円

**溥儀 — 変転する政治に翻弄された生涯**

「日本史リブレット人99」 塚瀬進著 本体800円

三度にわたり皇帝に即位した溥儀の生涯を、20世紀という時代や当時の政治状況のなかに位置づける。

**アイヌ民族の歴史**

関口明/田端宏/桑原真人/瀧澤正編 本体1800円

アイヌ民族の独自の歴史と生活・文化などを、政治・社会・経済的な成立の背景を含めて叙述。中高生から一般読者を対象に、平易に解説する。

**鹿児島県の近現代**

原口泉/宮下満郎/向山勝貞著 四六判 386頁 本体2500円

激動の幕末から現代まで、鹿児島県はいかなる道を歩んできたのか。地域の歴史を次世代に語り継ぐために、客観的に書き下ろす。

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13  
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

(表示は税別)

# “北”のくまな像を新歴史シリーズ

【企画編集委員】  
熊谷公男・柳原敏昭  
各2400円



平泉文化、奥州惣奉行、安藤氏、十三湊、伊達・最上・大崎氏、奥羽仕置。中世東北の歴史の流れがわかる最新通史。  
【内容案内】送呈  
姉妹編

# 東北の中世史

全5巻 刊行中

## ② 鎌倉幕府と東北

七海雅人編 「幕府の植民地」論にはおさまらない。東北の鎌倉時代を日本史に位置づける。(第2回配本)  
〔既刊〕  
① 平泉の光芒  
柳原敏昭編

## 東北の古代史 全5巻 刊行開始 ① 北の原始時代

阿部島 香編  
(第1回配本)

### 地域のなかの軍隊 全9巻完結!

各2800円

## ⑨ 軍隊と地域社会を問う

〔地域社会編〕  
林 博史・原田敏一・山本和重編 日常のなかに軍隊が存在した意味を問う。  
〔既刊〕  
① 北の軍隊と軍都(北海道・東北)：山本和重編  
② 軍都としての帝都(関東)：荒川章二編  
③ 列島中央の軍事拠点(中部)：河西英通編  
④ 古都・商都の軍隊(近畿)：原田敏一編  
⑤ 西の軍隊と軍港(都市・中国・西国)：坂根嘉弘編  
⑥ 大陸・南方膨張の拠点(九州・沖縄)：林 博史編  
⑦ 帝国支配の最前線(植民地)：坂本悠二編  
⑧ 日本の軍隊を知る(基礎知識)：荒川・河西・坂根・坂本・原田編

## 407 将門伝説の歴史

南朝忠臣の好敵手、足利直義の政敵。今、明かされる。悪玉の実像！  
室町新秩序の創造者 亀田俊和著

## 408 新田一族の中世

足跡から実像に迫り、「太平記」に秘められた足利氏の思惑にも言及。  
「武家の棟梁」 田中大喜著

## 409 アジアのなかの戦国大名

西国の群雄と経営戦略  
鹿毛敏夫著 乱世をグローバルに生きた彼らの領国経営に迫る!

## 戦没者合祀と靖国神社

誰が祀られ、誰が祀られなかったのか？ 揺れ動く合祀基準のゆくえを追う。  
赤澤史朗著 2500円  
戦没者合祀と靖国神社 赤澤史朗

## 広島藩

土井作治著 安芸・備後を領域とした外様の大藩。朝暮の狭間に揺れた幕末まで描く。(日本歴史叢書71) 3200円

## 歴史のなかの石造物

人間・死者・神仏をつなぐ。中世に造られ、今も各地に残る、層塔・宝篋印塔・石仏・五輪塔。 山川 均著 2500円  
時の人々々は、石にどんな思いを込めたのか？

## 總持寺の歴史

〔増補新版〕 竹内道雄著・尾崎正善編 2000円  
禪の普及など多彩な活動が続けてきた、曹洞宗大本山の歴史を知るための必読書。

### 読みなおす日本史 好評刊行中

## 出雲尼子一族

山陰・山陽の覇者！ 軍記物の虚像を排して一族盛衰の歴史を描き出した名著。 米原正義著 2200円

## 富士山宝永大爆発

六二〇年ぶりに大噴火！ 生きる手段を失った住民たちの生活復興への戦い。 永原慶二著 2200円

吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8  
電話 03-3813-9151 / 表示価格は税別  
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 〈担当者・深谷直樹〉  
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 〈担当者・石田 亘〉  
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355〈担当者・井熊勇介〉  
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 〈担当者・鈴木 淳〉  
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 〈担当者・中村文江〉  
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 〈担当者・榎 祐典〉  
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 〈担当者・関口守俊〉  
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者・西村明高〉  
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1  
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589  
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F  
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620〈担当者・杉田信啓〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 〈担当者・菊池敏彦〉  
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 〈担当者・春山晃宏〉  
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2015年9月1日発行・第221号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内  
(非売品)

取扱店